



# きずな

## トラック協会杯 第30回全道U-11 少年サッカー大会 札幌地区予選

SSS 札幌サッカースクール、真栄サッカー少年団、  
北海道コンパニオン札幌(B)、北海道コンパニオン札幌(C)、  
FC Kitago ランジャ、北海道コンパニオン札幌(A)、  
札幌ジュニアフットボール

### 全道大会進出おめでとう！！

札幌で開かれる全道大会の札幌地区代表を目指してAブロックに分かれて各会場で熱戦を繰り広げました。結果、上記7チームが全道大会に進出することになりました。台風による荒天の影響で、スケジュールやグラウンドの大きな変更がありました。急遽会場を提供して下さった皆様はこの場を借りてお礼申し上げます。また、大会を担当された厚別区の皆様、事務局・理事会の皆様のご尽力に感謝いたします。

| Aブロック代表決定戦               |                |   |
|--------------------------|----------------|---|
| 8月26日(日)SSAP 人工芝グラウンド(A) |                |   |
| SS.LAVORO                | SSS 札幌サッカースクール |   |
| 0                        | 0-1<br>0-0     | 1 |

Aブロック決勝は天候の影響で当初とは違う会場及び時間での開始となった。16:30 LAVORO

のキックオフで試合が始まった。開始直後から SSS ⑩が魅せる。1分には⑩ミドルシュート、2分に⑩のフリーキックから④がシュートも LAVORO ゴールキーパーの好セーブでゴールを割ることはできない。その直後も SSS ⑦のシュートがクロスバー直撃と SSS が攻撃を緩めず、多彩な攻撃で LAVORO ゴールに襲い掛かった。8分 LAVORO のチャンスは、⑧が右サイドを突破しクロス、人数は揃っていたが合わすことができない。均衡が破れたのは12分、SSS ⑩が左サイドを仕掛けゴールニアサイドにクロス、それを⑨が合わせ SSS が先制点を奪う。そのまま SSS 1点リードで前半を終える。

後半も SSS のペースで進む後半開始から SSS ③が立て続けにシュートチャンスを迎えるも決めることができない。20分には LAVORO フリーキックのこぼれ球に⑪がシュートを放つもゴールの枠外へ。6分 SSS ⑥が抜け出しキーパーも越すループシュートを放つもゴール左へ外れる、その後は LAVORO も粘る強くチャンスを伺うも得点は奪えず、SSS が1点を守り抜き、Aブロックの代表の座を掴んだ。

| Bブロック代表決定戦               |            |     |
|--------------------------|------------|-----|
| 8月26日(日)SSAP 人工芝グラウンド(B) |            |     |
| 真栄                       |            | 中の島 |
| 2                        | 1-0<br>1-1 | 1   |

中の島のキックオフでBブロック代表決定戦が始まった。開始から互いに相手の良さを消しながらの展開となり球際の攻防、拮抗した試合の入りとなり、なかなか形がつかれない時間が続いた。6分、徐々

に流れをつかみ始めた真栄⑫が先制点を決め、勢いを引き寄せた。その直後も真栄は⑭と⑪の連携から右サイドを攻め続け、10分、中の島のクリアボールを真栄⑫が拾いゴール前まで持ち込み、最後はキーパーもかわしゴール。真栄が2点目をあげる。中の島は⑦を中心に試合を展開し、良い形をつくるもシュートまで行くことはできず、前半を終えた。

後半の立ち上がりから真栄が決定的なチャンスをつくり続けるもゴールを決められない時間が続く。25分、フリーキックのチャンスを得た中の島⑧がペナルティーエリア左側から放ったシュートはゴール右側を揺らし1点を返す。27分、真栄は左サイド⑪からのパスを中央で受けた③がループシュート、中の島キーパーがさわるも、ゴールラインをわり、真栄が試合を決める3点目を奪った。真栄が全道大会への切符を手にした。

| Cブロック代表決定戦            |            |   |
|-----------------------|------------|---|
| 8月26日(日)札幌ジュニア駒岡グラウンド |            |   |
| 北海道コンサドーレ札幌B          | 上白石        |   |
| 5                     | 5-1<br>0-3 | 4 |

序盤からコンサドーレBがDFラインで大きくボールを動かし上白石DFラインの背後を突くボールが数回出るが惜しくもオフサイド。前半5分、コンサドーレ⑥が左サイドからドリブルで運びシュート。一度はGKにはじかれるも自分で詰めてコンサドーレが先制した。ここから立て続けにコンサドーレBが⑧、⑦、⑨の2得点で追加点。対する上白石も前半終了間際に相手のビルドアップのミス突き⑦がゴール。前半を5-1のコンサドーレBのリードで終えた。

後半はコンサドーレBが大幅にメンバー交代してスタート。流れが変わったのか、上白石の積極的な守備からショートカウンターが増える。21分に上白石③がゴール。続けて25分にも上白石③が追加点。終了間際の29分にも上白石③のFKからゴール前の混戦で⑦がゴール。1点差まで詰め寄り会場

を大いに盛り上げたがここで試合終了。5-4でコンサドーレBが全道大会への切符を手にした。

| Dブロック代表決定戦            |            |   |
|-----------------------|------------|---|
| 8月26日(日)札幌創成高校石狩グラウンド |            |   |
| 北海道コンサドーレ札幌C          | 手稲東FC      |   |
| 2                     | 2-0<br>0-0 | 0 |

Dブロック決勝は、台風の影響で急遽会場などが変更され、午後7時過ぎの遅い試合となった。手稲東FCのキックオフで試合が始まり、MF⑧を中心に前線へパスをつなげようとするもDFに阻止される。一方、コンサドーレCは立ち上がりからボールをキープして細かくパスを回し、中央、左右と前線へボールをつないで好機をつくった。5分過ぎにコンサドーレCは、MFから相手ディフェンスライン裏右サイドへのスルーパスがつながり、受けた⑩がGKをかわし、落ち着いてゴールへ流し込み先制点を奪った。前半終了間際の14分には、コンサドーレCは、左CKで高く浮いたボールをゴール逆サイド側に構えた⑬がヘッドで合わせ追加点を奪った。

後半もコンサドーレCは、選手交代とポジションチェンジを行いながらボールを保持して優位を保ち、手稲東FCは、高い位置から強いプレスをかけ、左サイド⑨への展開から好機をうかがうも、コンサドーレCの早いチェックで決定機をつくれないうまま、時計が進んだ。コンサドーレCのボールキープ、それに対する手稲東FCの必至なプレスの、好ゲームとなったが、終始安定したパス回しで高いポゼッションを保ち、安定した試合運びを行ったコンサドーレCが全道大会へ駒を進めた

| Eブロック代表決定戦            |                            |   |
|-----------------------|----------------------------|---|
| 8月26日(日)札幌創成高校石狩グラウンド |                            |   |
| NORTE 札幌              | FC Kitago ラランジャ            |   |
| 1                     | 0-0<br>1-1<br>0延前0<br>0延後1 | 2 |

Eブロック決勝は、曇天で夜の湿った空気の中、FC kitago のキックオフで試合が始まり、序盤は互いに相手の出方をうかがうように静かな立ち上がりとなった。kitago は自陣深くからボールを大きく左右に振って前線へ供給して好機をうかがい、NORTE は、DFからディフェンスライン裏への浮き球で好機をうかがった。前半は、互いに数度、好機があったが攻め手を欠き、得点なく終了。

後半は、次第に互いの形をつくれるようになり、持ち味が出てきた。体格が良く早くて強いNORTE DFからのビルドアップでやや優勢に進めた19分、NORTE 右CKで混戦から左へ流れたボールを③がゴール端に流し込んで先制点を奪った。一方のFC kitago は、NORTE のプレスが若干弱くなり、次第にボールをキープできるようになった時間帯に数度好機をつくる中、25分、前線左の⑬にボールが流れ、フェイントでDFをかわし、グラウンダーのシュートを放って同点に追いついた。その後、互いにチャンスを得るも、そのまま後半を終え、前後半3分ずつの延長戦に突入した。延長でも接戦が予想されたが、延長前半2分、NORTE の守備が緩んだ一瞬の隙を見逃さず、FC kitago⑦が中盤から素早いドリブルでゴール前に抜け出し、左側に流し込んで貴重な得点を奪った。延長後半、NORTE は追いつこうと必至に前線にボールを運び、相手のミスをついた決定機もあったが得点に至らず、ゲーム終了のホイッスルが鳴り、FC kitago が接戦を制して全道大会への切符をつかんだ。双方に勝機があった力が拮抗した好ゲームだった。

| Fブロック代表決定戦            |               |   |
|-----------------------|---------------|---|
| 8月26日(日)札幌創成高校石狩グラウンド |               |   |
| 石狩 FC レッド             | 北海道コンサドーレ札幌 A |   |
| 1                     | 0-1<br>1-3    | 4 |

コンサドーレ A は立ち上がりから相手陣地での積極的な守備から攻撃を見せる。対する石狩レッドも粘り強く対応し、簡単にシュートを打たせない。試合が動いたのは5分、コンサドーレ⑧がミドルシュートで先制ゴール。その後はコンサドーレ A がチャンスをつくるも決めきれず前半を終了する。

後半、19分にコンサドーレ⑥のスルーパスを受けた⑩が落ち着いて決め追加点。立て続けに21分コンサドーレ④が石狩レッド DF の横パスをインターセプトしドリブルから冷静に決め3-0とする。反撃したい石狩レッドも25分、コンサドーレ A のディフェンスラインでの繋ぎのミスをつき⑫がゴール。しかし、後半終了間際にはコンサドーレ A が石狩レッドのゴールキックをインターセプトし⑦が試合を決めるゴールで全道大会進出を決めた。

| Gブロック代表決定戦            |            |   |
|-----------------------|------------|---|
| 8月26日(日)札幌ジュニア駒岡グラウンド |            |   |
| 札幌ジュニアパープル            | 新発寒        |   |
| 2                     | 0-0<br>2-0 | 0 |

Gブロックの決勝。前半互いボールを前へ運び出せずシュートチャンスをつくれずに終わる。拮抗を破ったのは札幌ジュニアパープル。22分、札幌ジュニアパープルの34番が左サイドからドリブルでカットインし、GKの頭上にヘシュート。これが決まり札幌ジュニアパープルが先制した。25分には札幌ジュニアパープル59番がミドルシュートを突き刺し2点差へ広げる。対する新発寒も10番を起点に反撃するもゴールには届かず。

このまま試合は終了し札幌ジュニアパープルが全道大会への切符を手にした。